

令和5年度 第3・4・5回 合同番組審議会 議事録

1 開催年月日

令和6年3月7日（木） 午前10時00分～午前11時00分ごろ

2 開催場所

砺波市太郎丸2-129 北日本新聞社砺波支社 会議室

3 委員の出席

委員総数 6名

出席委員数 6名

出席委員の氏名（◎委員長 *欠席）

- ◎ 山本 仁史 70歳、男、砺波市文化協会長
- 杉野 秀樹 65歳、男、砺波市美術館長
- 山田 智恵子 60歳、女、南砺市商工会女性部長
有限会社山田文華堂取締役
- 富田 哲夫 44歳、男、元砺波商工会議所青年部会長
株式会社富田建築代表取締役
- 久保田 晃克 46歳、男、リアール・プランニング株式会社代表取締役
- 山崎 匠 40歳、男、となみ青年会議所前理事長
株式会社山崎組取締役

放送事業者側出席者名

- 河合 常晴 (株式会社エフエムとなみ 代表取締役社長)
- 古井 裕人 (株式会社エフエムとなみ 取締役業務部長)
- 高信 静枝 (株式会社エフエムとなみ 放送課長)

4 議事の概要

社長の挨拶に続き、放送番組についての説明の後協議へ。

その後は、番組編成などについて意見交換を行った。

5 議題

1. 放送番組に対する評価

《対象番組》

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

虹色クラシック（2024年1月19日（金）放送）

毎月作曲家をピックアップして、その人生を振り返りながらクラシックの魅力を紹介する番組。1月はヨハン・シュトラウス1世とそのファミリーを取り上げた。1月19日放送回は、ヨハン・シュトラウス2世の生涯を振り返りながら代表曲を紹介した。

パーソナリティー：中沖いくこ（ピアニスト）

イマノトークレディオ（2024年1月24日（水）放送）

砺波のアラフォー（30代後半から40代前半）がとなみ野の今（地域のイベント、経済、防災など）についてノンジャンルで話す、地域共感型トーク番組。

今回は、ゲストに砺波市消防団出町分団に2年前に入団した山本ゆうたろうさんを迎えて消防団の人手不足や責任、地域における役割などについて語る。

パーソナリティー：天野修（市民パーソナリティー）、仁木理一（市民パーソナリティー）、古井裕人

鈴木秀明の資格のススメ

お昼の生放送番組「HAPPY SHOWER」のゲストコーナーで、毎月第1火曜にレギュラーゲストとして出演してもらっている鈴木秀明さん（東京都在住、電話での出演）。

砺波市出身で、東京大学在学中から資格取得に目覚め、その取得資格数は現在800を超える。その経験から学習方法などを著書やメディアで伝えている。

資格に限らず受験勉強のノウハウなど、学習に関するアドバイスなどもうかがっている。

パーソナリティー：タナベマサキ

2. 番組編成に対するアドバイス
3. その他

6 審議内容（各委員の発言を要約して箇条書きで記載）

【杉野副委員長】

・「虹色クラシック」について

中沖さんの落ち着いたゆったりとした語り口が、番組全体を象徴しているようでよかった。

ヨハン・シュトラウス2世は知っているけれど、生涯は知らなかった。父であるヨハン・シュトラウス1世との確執は、親子でもライバルという、アーティストならではの感覚という気がした。

しっかり曲を聴かせる構成も、クラシック番組としてはいいのではないかな。

・「イマノトークレディオ」について

4人でのトークだったが、3人以上になると誰が話しているのか分からなくなる。ラジオで多人数は難しいなと感じた。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「鈴木秀明の資格のススメ」について

G X検定の話だったが、いろいろな資格があるものだなと思った。
冒頭で、何の資格の話なのか提示するとより分かりやすかったか。
電話の音声は聞き取りづらい部分があるなど感じた。

・災害対策について

能登半島地震の際、何もできなかった自分を反省している。防災会にも所属し、防災ラジオも用意していたが、実際手に取ることもできなかった。
物の準備も大切だが、心の備えも重要だと痛感している。

【山田委員】

・「虹色クラシック」について

今回は、みんなが知っている曲、知っている作曲家なのでゆっくり聴くことができた。作曲家の生い立ちは参考になった。
聴きやすいトーンで、いい番組だと思った。

・「イマノトークレディオ」について

身近な地域の話で、若い人の話が聴けてよかった。
10分が短く、もう少し聴きたいなと思った。

・「鈴木秀明の資格のススメ」について

砺波出身者にこんな面白い人がいるのかと思った。
冒頭で鈴木さんのプロフィールをもう少し紹介してもいいのではないか。
話が展開していく中で、何の資格の話か分かりにくくなっていたのがもったいなかった。

【富田委員】

・「虹色クラシック」について

作曲家のエピソードが興味深かった。
トークも聞き取りやすく、耳ざわりもよく、もう少しトークがあってもいいと思った。
クラシックなので1曲が長いなど感じた。

・「イマノトークレディオ」について

ゲストの消防団に入ったきっかけに「しっかりしているな」と感じた。若者のそういう声が聴けてよかった。

・「鈴木秀明の資格のススメ」

電話のせい聞き取りづらい部分があった。
もっと軽い内容なのかと思ったが、資格の背景の説明になると難しく、パーソナリティーも

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

おいていかれているように聞こえた。

【久保田委員】

- ・「虹色クラシック」について
上品な番組だなと思った。クラシックの曲も知っている部分が出てくると聴き入ってしまう。
心を落ち着かせてくれる番組だなと感じた。
- ・「イマノトークレディオ」について
パーソナリティーの年齢も近く、地域を担う人たちの話が身近に感じた。
もう少し長くてもいいのではと思った。
- ・「鈴木秀明の資格のススメ」
砺波出身にこんな人がいたのかと驚いた。
学生から社会人まで幅広く聴いてもらいたい内容だったので、放送時間が昼というのもいい
なと思った。

【山崎委員】

- ・「虹色クラシック」について
クラシック好きな人にとってはいい番組だなと思った。曲をフルで聴けるというところも、
好きな人にとってはいいなと感じた。声も聴きやすく、いい情報も詰まっていた。
- ・「イマノトークレディオ」について
地域のことを紹介する番組で、パーソナリティーの年齢も近く、共感できる部分があった。
ゲストも交えて4人だったので、ごちゃごちゃしている感じもした。居酒屋で話しているよ
うなイメージだった。
- ・「鈴木秀明の資格のススメ」
聞きごたえのある番組だった。鈴木さんなりの考え、将来のことも話していて勉強になった。
電話の音声聞き取りづらい部分があった。

【山本委員長】

- ・「虹色クラシック」について
作曲家について知らなかったことを教えてもらった。親子の争いがありながら、どうしてこ
んな美しい曲を作れるのかと思った。中沖さんなりの解釈があっても面白いかもしれない。
- ・「イマノトークレディオ」について
他の消防団の人に出てもらったり、市内の人に気張らず話を聞くような番組にしてもいいの
ではないか。テーマを決めて進めても面白いかもしれない。

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------

・「鈴木秀明の資格のススメ」

特異な人だなと思った。鈴木さんの経歴をもう少し詳しく紹介してもいいのではないかな。
子どもたちの学びに繋がる番組にしてもいいかもしれない。

・災害対策について

能登半島地震の際、自分はテレビなどで情報を得ていたが、実際の被災地の方はどうやって情報を得ていたのか。本当に必要な情報は身近な情報で、それをどう提供し、どう入手するのか。高齢者には普段からのトレーニングも必要かもしれない。そういったことを行政と連携して考えてほしい。

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・番組のコンセプト、出演者のプロフィールをアナウンスするよう指示した（令和6年3月8日）

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

令和6年3月8日付北日本新聞朝刊に記事を掲載。

FMとなみのHP上でも議事録を公開。

以上

社名	株式会社エフエムとなみ
----	-------------